

子どもたちの笑顔のために



— 齋藤文夫日光市長 —

安全・安心なまちづくりに向けて

幼い児童が犠牲になってしまった悲しい事件発生から1年が過ぎました。警察当局の昼夜を問わない懸命な捜査にもかかわらず、いまだ解決には至っておりません。

これからの時代を担う「社会の宝」である子どもを狙った事件は、最も悪質かつ卑劣な犯罪であり、断じて許すことは出来ません。市民の皆様と一日も早い事件の解決を願うばかりであります。

この事件を機に、旧今市市でも、新生「日光市」におきましても、子どもたちや高齢者をはじめ、一人ひとりの市民を日光市民全員で守るという決意で、あらゆる方策を講じてまいりました。特に、市民の皆様方の暖かいご協力のもと、防犯パトロールの組織拡大、防犯ステッカー掲示車の拡大、防犯灯の緊急的増設など、21項目にわたる各種対策を実施してまいりました。多くの皆様のご支援、ご協力に対しまして、ここに深く感謝申し上げます。

このような痛ましい事件を二度と起こさないためにも、児童・生徒の安全確保を何よりも優先に考え、地域の皆様と力を合わせて「安全・安心のまちづくり」に取り組んでまいります。

皆様方のなお一層のご理解、ご協力を、心よりお願い申し上げます。